

 議会だより

6月会議号

2021.8.1

No.206

# わくや



**元気にコロナを  
ふきとばせ!!**

(天平ろまん杯中学校女子ソフトボール大会)

【6月第2回会議】

行政報告	2
条例改正	3
補正予算	4
町政をただす〈一般質問〉	5
新型コロナウイルス関連予算等〈4月会議・6月会議〉	11
輝くみなさんの声〈キラキラVoice〉	12

# 6月 (第2回) 会議

## 町長からの行政報告

令和3年6月第2回会議を、6月16日(水)と17日(木)の2日間の日程で開催しました。今議会では、人事案件2件、専決処分報告など報告9件、条例の一部改正7件、各会計補正予算6件、その他3件を全て原案のとおり可決しました。一般質問には5人の議員が登壇し、町の課題などに対する町長の姿勢をただしました。

○災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定について

災害時において、被災者に対し、応急生活物資を迅速かつ円滑に供給することを目的として、みやぎ生活協同組合と協定を締結しました。



○新型コロナウイルス感染症関連について

当町では、新型コロナウイルス感染症対策本部を法定設置し、対応しているところですが、

ワクチン接種の予約については、電話がつながらないなどのご迷惑をおかけしましたが、7月末までに、65歳以上の接種の終了が見込まれることになりました。60歳から64歳の方につきましては、7月中旬にコールセンターで予約受付を開始し、8月中の接種開始を予定しています。

また、60歳未満の方々につきましては、コールセンターとインターネットでの予約受付も行う予定です。

○令和2年度涌谷町一般会計及び特別会計出納閉鎖の報告について

令和2年度涌谷町一般会計及び各種特別会計の出納閉鎖が、5月31日をもって行われました。

収支の結果については、一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計については黒字となり、病院3事業会計については純損失が発生しました。今後、書類などを調整の上、監査を経て9月の議会上に上程します。

### 一審議した議案(抜粋)

提案された議案は、全て原案同意又は可決しました

- 教育委員会委員の任命について(櫻井 信氏)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について(大友克裕氏)
- 涌谷町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 涌谷町地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- 涌谷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例・・・3ページ
- 涌谷町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例・・・3ページ
- 涌谷町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例・・・3ページ
- 涌谷町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例・・・3ページ
- 涌谷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例・・・3ページ

# 条 例 改 正

## よりよい介護サービスのために4条例を改正

- 涌谷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- 涌谷町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- 涌谷町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- 涌谷町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

涌谷町で指定している要介護者や要支援者が利用できる「涌谷町指定地域密着型サービス」や「涌谷町指定地域密着型介護予防サービス」を行う事業所の人員や運営に関する事項を定める条例を改正するものです。

どの施設にも共通で、利用されている方やご家族に影響のある主な改正内容は、次のとおりです。

- 1 感染症対策の強化（3年の経過措置）
- 2 業務継続に向けた取組の強化（感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する）（3年の経過措置）
- 3 ハラスメント対策の強化
- 4 利用者への説明・同意等に係る見直し（電磁的記録による対応を原則認める）
- 5 高齢者虐待防止の推進（3年の経過措置） （担当課 福祉課）

## 集積所からの資源ごみの持去りに「罰金」が科されます

### ○ 涌谷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

ごみ集積所に出された資源ごみは町の所有物となり、そこからの持ち去りについて、次のとおり改正するものです。

- 1 集積所に排出された一般廃棄物のうち、新聞紙、空き缶等、資源物として規則で定めたものを集積所から収集、運搬してはならない。
- 2 規定に違反する行為をした者に対し、禁止命令書を交付する。
- 3 禁止命令書の交付にもかかわらず2度目の違反行為を確認した場合は、法的な手段をとり、最終的に20万円以下の罰金が科せられる。
- 4 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業員が、その法人又は人の業務に関し、違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、同条の刑を科する。罰則は違反行為実行者だけでなく、雇用主も対象になる。

（担当課 町民生活課）



大崎地域広域行政事務組合が委託している資源ごみ収集車

# 一般会計 補正予算

## 6月補正

### 質疑

子育て一時預かりを  
さくらんぼでの実施は

**問**

生後6か月から2歳までの一時預かりは良い事業であると思う。修紅幼稚園、子どもの丘保育園の民間施設だけでなく、さくらんぼこども園でも実施すべきでは。

**答**

人員などの問題もあり、できなかった。

**問**

補助事業なので、職員を採用してもメリットはあるのではないか。

**答**

民間施設のみが補助該当であるので、民間保育園に委託した。

浦谷保育園の現状は

どうなのか

**問**

保育費委託料の減額補正は、実人数の確

定によるものか。また浦谷保育園の現状はどうなのか。新たな問題はないのか。

**答**

人数確定による減額である。

浦谷保育園の現状は、保育士の数も規定の範囲内である。現在、特段の問題もなく運営されている。

64歳以下の方への

ワクチンの接種方法は

**問**

64歳以下の方への新型コロナワクチン接種の方法で、登米市や福島県相馬市のような方式は考えなかったのか。

**答**

登米市は、接種日と会場をあらかじめ個人に振り分け、はがきで通知する方法で行った。  
相馬市は、市内を10地区に分けて接種日時を指定した。

**答**

生活スタイルや仕事などで都合がつかないことも懸念されるので、今のところ考えていない。

遊具の点検管理は

**問**

町内にある遊具の点検は十分か。

**答**

教育施設及び公園関係の点検は十分にしているが、地域で管理している遊具は、地域に依頼している。

城山公園石垣の

災害復旧工事の内容は

**問**

城山公園石垣（県道側）災害復旧工事は、200万円で足りるのか。今後、大規模な補修は必要なのか。

**答**

今回は、コンクリートを注入する方法で行う。  
大規模補修を行うとすれば、調査費用や工事費も莫大になると思われるので、様子を見る。

浦谷神社の鳥居の

補修は

**問**

浦谷神社の鳥居は社で補修するのか。

**答**

神社で見積りを取っている。内容は聴いていないが、神社で対応する。

皆さんからの請願・陳情

令和3年陳情第1号

件名 コロナワクチン接種を迅速に執行するよう町当局に議会としての意見書を提出することに関する陳情

陳情者 遠藤 淳七郎

要旨 議会から町長に対して、高齢者向けワクチン接種完了予定を、他の自治体並みの7月末まで前倒しするよう意見書を提出していただきたい。

・議会での配布となりました。

○これまでの予算額に8,121万円を増額し、総額を69億6,808万円とするものです。（千円単位を切捨て表示）（全員賛成で可決）

（主な歳入）

- ・新型コロナウイルス感染症関連予算 3,262万円
- ・担い手確保・経営強化支援事業補助金 3,576万円

（主な歳出）

- ・保育費委託料（民生費） △919万円
- ・感染症対策経費 816万円
- ・城山公園石垣災害復旧工事（災害復旧費） 200万円

6月第2回会議では、6月16日に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



# ズバリ町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

## 佐々木 敏 雄 議員(6ページ)

- ①スクールバスの利用状況と  
今後の運行計画について
- ②小学校の統合と国が推進する  
小中一貫教育導入の考えは

## 鈴木 英 雅 議員(7ページ)

- ①緊急時に備えた基金創設について

## 黒 澤 朗 議員(8ページ)

- ①児童生徒数の急激な減少に伴う幼児、  
小中学生の教育環境の在り方と整備について
- ②涌谷町の観光資源を経済資源として  
活用することについて

## 杉 浦 謙 一 議員(9ページ)

- ①涌谷町の福祉政策について問う
- ②新型コロナウイルス感染症対策についての  
考えを聴く
- ③教育施設の環境について考えを聴く

## 佐々木 みさ子 議員(10ページ)

- ①新型コロナウイルス感染症対策について

佐々木 敏雄  
議員



## スクールバスの利用 登下校の安全に利用すべき

問

答 希望を聴き検討したい

**問** スクールバスの利用者  
と利用状況は。

**教育長** 遠距離通学者で、  
対象者の半数くら  
いである。

**問** 今後の運行計画は。

**教育長** 利用者の動態に  
応じ、利便性と効率  
性を考慮し柔軟に対応し  
たい。

**問** 平成18年に文部科学  
省から登下校の安全  
確保のため、遠距離通学以  
外のスクールバス利用を検  
討するよう通知があった。  
距離を撤廃し、利用したい  
児童生徒に利用させては。

**教育長** 契約が本年度で切  
れるので、更新時  
に検討したい。

**問** 定員数を下回った利  
用なので、2学期か  
ら利用できるよう交渉でき  
ないか。

**教育長** 契約途中の変更が  
可能か確認し、検  
討したい。

問

少子化による

小学校統合の考えは

答

子どもたちを第一に  
最も良い方向性を

問

学校規模の標準は1  
学級35人で12学級以  
上18学級以下である。月将  
館小1学級で20人から28人、  
籠岳白山小も11人から19人  
で小規模校である。小学校  
の統合が必要ではないか。

**教育長** 小中一貫教育の形  
態は大きく二つあ  
る。それぞれメリット、デ  
メリットがある。子どもた  
ちにどのような教育環境が  
好ましいか、先進校を参考  
に最良の方策を検討したい。

教育長

現状で児童数の減  
少が進めば、複式  
学級も考えられるが、現段  
階では具体的に決定してい  
ない。

子どもたちのことを第一  
に最も良い方向性を検討し  
たい。

問

文科省では、小中一  
貫教育の推進を図つ  
ている。我が町でも近未来、  
小中一貫教育の導入は避け  
られない。どのように考え  
ているのか。



問

教育施設整備に令和  
5年度～41年度まで  
に96億円程の改修費が示さ  
れた。改修前に小学校の統  
合や小中一貫教育の導入に  
ついての結論を出さないと  
無駄な投資になるのでは。

町長

改修には多額の費  
用がかかる。二重  
投資にならないよう、統廃  
合や小中一貫校教育の視野  
に、今後の方向性を検討し  
たい。



**問** 柔軟な運用を可能とする基金を新たに増設する考えは

**答** 新たな基金の創設は慎重に

**問**

当町には、財政調整基金、ふるさと涌谷創生基金などがある。これら各基金は特定目的基金で、緊急時にインフラ整備に運用できる新たな基金増設を望むが。

**町長**

現在、財政非常事態宣言発令中であり、財政再建計画を推進中である。新たな基金の創設は慎重に考えなければならぬ。

**問**

町民から、多くの道路改修、新設、補修等の要望がある。柔軟に運用を可能とする基金の創設が必要と思うが。

**町長**

緊急時に資金が必要となれば、資金の調達方法はあるが、より迅速に対応することを考えれば、何らかの財源を用意しなければと考える。



今後のハード整備が課題です（太田地区）

— 基金現在高(令和2年度末) —

(万円未満切捨て)

・ 財政調整基金	6億8,031万円
・ 減債基金	4億2,330万円
・ 保健福祉基金	436万円
・ 国民健康保険事業財政調整基金	5億9,138万円
・ 国民健康保険出産費貸付事業基金	300万円
・ 介護保険給付基金	1億7,790万円
・ 農業振興奨励基金	661万円
・ ふるさと・水と土保全基金	1,129万円
・ ふるさと涌谷創生基金	1億8,769万円
・ 公営住宅用地取得基金	1,609万円
・ 土地開発基金	3,445万円
・ 肉用牛特別導入事業基金	598万円
・ 震災復興基金	3,936万円
・ 歴史文化基金	744万円
・ 森林環境整備基金	403万円
・ 新型コロナウイルス感染症対策中小企業等支援基金	1,020万円
・ 新型コロナウイルス感染症対策農畜産業支援基金	277万円



問

幼稚園の老朽化と園児数の減少から  
統廃合の検討は

答

総合計画後期計画策定の中で  
方向性を検討



問

園舎の老朽化と園児の減少に対応することとは、幼児教育にとって早急に取り組まなければならない課題である。幼稚園の統廃合も含めて検討すべきではないか。

教育長

園児数は急激に減少し、園舎も建設から40年前後経っていることから、現在進行中の第五次涌谷町総合計画の後期基本計画策定の中で方向性を検討する。



老朽化が進む涌谷幼稚園

問

観光資源が経済資源として  
生かされていないのでは

答

観光物産協会の  
独立化等を検討

問

涌谷町は、観光資源が多いと言われているが、経済資源として生かされているとは思えない。町外から来る方の目線に立つた、抜本的な対策を考えるとではないか。

町長

確かに、現在、観光資源が経済資源としては生かされていないと考えている。観光対策の一つとして、観光



わかりにくい観光看板

物産協会を自主運営のできる行政から独立した法人組織とし、JA、商工会、大学などと連携し、観光物産協会が積極的に事業展開する新たな段階に進むことが必要と考えている。  
来町者への情報提供は、看板などの設置も必要だが、SNSなど、さまざまな情報媒体を駆使していきたいと考えている。





**問** 特別障害者手当の周知や産後健診助成事業の実施についての考えは

**答** 周知の徹底や事業実施を検討していく

これも質問しました

**問** 35人の少人数学級の実現に向けてはどう考えているのか。

**答** 現在の制度では、独自に実施すると財政面、人的配置、施設の問題があり、簡単に実施の方向とは言いきれない。

**問** 特別障害者手当について、町内での支給状況は。

**町長**

直近の5月時点での支給人数は9人である。今後、福祉課の窓口での案内や広報などで、制度の周知に努める。

**問** ケアマネージャーが集まる機会に周知すべきでは。

**福祉課長**

そのような機会に周知するよう努める。

**問** 他市町で実施している産後健診助成事業について、当町の考えは。

**町長**

健診費用を助成することで、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備できるものである。事業の実施には国県の支援状況を確認し、検討していく。

**問** 産婦健診助成制度の県内自治体の実施状況は。

**健康課長**

県内35自治体中31自治体が実施している。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種の見通しは

**答** 64歳以下の方にも8月上旬に実施できるよう準備を進める



**問** 新型コロナウイルス感染症対策のためのワクチン接種についての考えは。

64歳以下については、8月上旬頃を目安に実施できるよう準備を進める。

接種予約については、コールセンター予約のほか、インターネットでの予約もできるようにしていきたい。

**町長** 65歳以上の接種については、7月末までに終了の見込みである。

佐々木みさ子  
議員



**問** 新型コロナウイルス感染症対策を  
どう進めるのか

**答** 安心安全で  
快適なまちづくりを進める

**問** 新型コロナウイルス感染症で見た、町への影響は。

**町長** 農業では枝肉価格が急落し、花卉出荷も減少している。野菜や米も厳しい状況にある。また、商工業も事業資金確保など、厳しい経営活動である。

**問** 今後の課題と対策は。

**町長** 経済の低迷の長期化が考えられる。事業者皆さまの声に耳を傾け、必要な対策を検討する。

**問** コロナ感染の有無の検査で、町長ほか管理職が不在のときは、どのような対応だったのか。

**町長** 経験豊富な職員が対応した。

**町長** 健康推進員に限らず、民生委員や行政区長なども含め、発信していく。

**問** 税収減の中で、財政再健にどう取り組むのか。

**町長** 今後分析し、9月の決算議会で示すことになる。

**問** 財政再建計画にある町民の幸福度とは何か。

**町長** 幸福度は人それぞれであり、難しい質問だが、住民サービスの充実だと考える。

**問** 感染症の風評被害について、健康推進員を通して、正しい情報を発信していくべきでは。

感染症の風評被害については、健康推進員を通して、正しい情報を発信していくべきでは。



売上げ減少に伴い、出張販売を始めた「わくや産直の会」(女川町)

4月26日開催  
**4月会議**

## 質疑

**支援事業の継続的取引の定義は**

4月会議では、令和3年度一般会計補正予算（第2号）を審議しました。

内容は、新型コロナウイルス感染症に関連する予算で、飲食店に対し、感染症拡大防止協力を支給するとともに、収入の減少した事業者などには、涌谷町飲食店取引事業者等支援補助金により事業継続を支援するものです。

また、購買意欲および消費拡大を促し、地域経済の活性化を図るため、美里町、遠田商工会と共同で割増し商品券の発行に係る経費について、補正するものです。

本議案については、全員賛成で可決しました。

**問** 涌谷町飲食店取引事業者支援事業の対象

業において、「県内飲食店等と過去1年間で、継続的に直接取引がある事業者」とあるが、継続的の定義はどのようなものか。

**答** 継続的に取引があるかどうかを、事業者から資料を提出していただき、判断する。

**支援事業の事業者間格差をどうするのか**

**問** 現在、コロナ禍において、事業者に対するさまざまな支援事業があるが、各事業者間で格差が生じているとされており、町としての対応はどのようなのか。

現在、コロナ禍において、事業者に対するさまざまな支援事業があるが、各事業者間で格差が生じているとされており、町としての対応はどのようなのか。

**答** 今後、どのような政策を打ち出していくのかを関係機関や上司と相談しながら進めていく。

**美里町との協議の考え方は**

**問** 割増し商品券発行事業について、美里町との協議にあたっての考え方は。また、決定した点があれば、議会にも情報を知らせるべきではないか。

割増し商品券発行事業について、美里町との協議にあたっての考え方は。また、決定した点があれば、議会にも情報を知らせるべきではないか。

**答** 販売方法やコロナ対策など美里町、商工会と協議をする。決定したら、議員各位に知らせる。

**割増商品券の予算措置が早すぎる**

**問** コロナ禍で町民に自粛を求めている中、割増商品券の予算措置を今議会に提案するのは、時期的に配慮が足りない。コロナの収束が見えてからでも遅くはないのか。

コロナ禍で町民に自粛を求めている中、割増商品券の予算措置を今議会に提案するのは、時期的に配慮が足りない。コロナの収束が見えてからでも遅くはないのか。

**答** 美里町と同時期に発行する必要があり、したい。逆算すると6月頃には印刷

**新型コロナウイルス対策**

# 美里町・涌谷町 3割増商品券

販売いたします!! (取組: 1枚5セツ150,000円)

---

**地元券** 8枚 8,000円分 (小規模事業者でのみ利用できます)

**共通券** 5枚 5,000円分 (全加盟店で利用できます)

---

**対象店**  
 ①美里町・涌谷町は春  
 ②美里町・涌谷町の事業者が加盟している方  
 ③美里町・涌谷町の事業者が加盟している方

**利用上限** 1世帯5セット50,000円以内まで

**令和3年7月15日(木)まで**

**有効期限** 令和3年8月6日(金)～令和3年9月5日(金)  
 (令和3年8月20日(金)まで)

**発行場所** 美里町・涌谷町内の各郵便局窓口

**発行枚数** 10,000セット 販売総額1億3,000万円分 (美里町6,000セット、涌谷町4,000セット)

**令和3年8月6日～令和3年9月5日**

6月4日開催  
**6月会議**

6月会議では、「議会運営委員会委員の辞任について」が議題として挙げられ、許可しました。その後、新しい議会運営委員会委員の選任が行われ、鈴木英雅議員を選任しました。

あわせて、会議の中では、新しく選任された委員長、副委員長の報告が行われました。

議会運営委員会	委員長	杉浦 謙一
同	副委員長	鈴木 英雅
教育厚生常任委員会	委員長	鈴木 英雅
同	副委員長	鈴木 英雅
同	委員長	鈴木 英雅
同	副委員長	佐々木 敏雄
同	議員	議員

**4月・6月会議**

議会に皆さんの  
ご意見をお寄せください。

# キラキラ Vol.17 Voice



及川 雄輝さん(大谷地区)

**Q** あなたのことを教えてください。

**A** 4年前に家族の経営する農業生産法人に入社し、父と共に農業に従事しています。

**Q** 議会についてどう思いますか。

**A** コロナ禍により、涌谷町内のさまざまな産業および商業は大変な窮地に陥っています。未来を見据えた政策をお願いします。

**Q** 涌谷町をどういう町にしたいですか。

**A** 企業誘致を通して、若い世代の定住化を促し、人口増を図り、若い世代と高齢者世代が共に支え合い、楽しく毎日を暮らせる町にしたいと思います。

### 議会から

ご多用のところ、議会だよりにご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。今、農家の皆さまは、農業で暮らしが成り立たず、農業以外で御苦労されている方もいます。早くご努力が報われることを願うものです。

涌谷町議会の本会議などを  
パソコンやスマートフォンで  
見ることができます。



当議会では、議会の内容を  
動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。  
また、各議員の一般質問の内容も動画配信して  
いますので、右上のQRコードからご覧ください。

議会を  
傍聴しませんか  
次回の定例会議は  
9月9日から  
開催予定です。  
詳しい日程と一般質問  
の内容は、後日ホームペ  
ージでお知らせいたしま  
す。詳しくは、議会事務  
局へお問い合わせくださ  
い。  
☎43・2127

- |    |    |    |    |       |      |
|----|----|----|----|-------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副分科会長 | 分科会長 |
| 員  | 員  | 員  | 員  | 黒澤    | 稲葉   |
| 涌  | 大  | 伊  | 久  | 澤     | 葉    |
| 澤  | 友  | 藤  |    |       |      |
| 義  | 啓  | 雅  |    |       |      |
| 和  | 一  | 勉  | 朗  | 定     |      |

編集 広報広聴常任委員会  
広報分科会

まだ遅くはない、これからでも地球環境の保全に前向きでありたい。(稲葉)

早い梅雨入りかと思われた5月だったが、予想は外れ、雨量不足によって田んぼの水が不足し、土地改良区から節水要請が出された。この議会だよりが皆様に届く頃、降雨状況がどのように変化していくのか予断を許さない。昨今の異常気象と呼ばれているものは、我々人類が自分たちの足元を顧みず、地球環境を破壊し尽くした結果が、極端な天候の変化を引き起こし、災害が起こる原因となっている。

